



21th 市民参加のまちづくり



はばた 翔く留萌21 RUMOI CITY 第4次総合計画



Norihiko Naganuma
市長 長沼憲彦

21世紀・留萌の発展のために

幸福を共有する 4「健康都市」 健康福祉計画

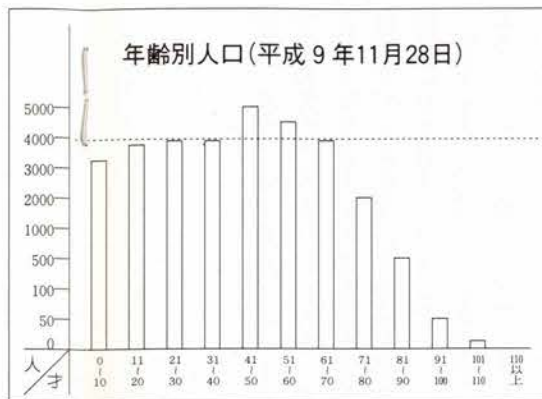
今月号は幸福を共有する健康福祉計画をテーマに、高齢化社会に向けた留萌市の取組みをご紹介します。

わが国は、21世紀初頭には4人に一人の割合で65歳となる「超高齢化社会」を向かえると予測されています。その対策として、昨年介護保険法が見直され、西暦2000年4月から、医療や年金などと並ぶ、新たな社会保険制度がスタートします。留萌市においても西暦2001年には、総人口の21%以上が高齢者になると予測され、介護を要する方々へのサービスは、今後急速に高まると考えられます。高齢者の方々が健康で安心して生活できるまちづくりをすすめる必要があります。

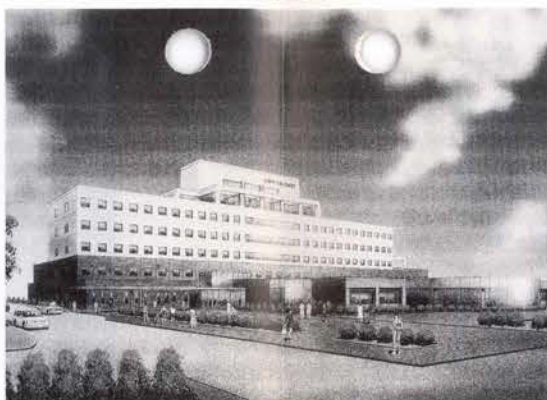
今年4月から開催しています市政懇談会「こんなこと、あんなこと?」市民と市長のホットなトーク「21」では、多くの市民がこれからの高齢化社会に向けた不安や要望、そして意見が多く寄せられました。

西暦2000年4月からは、新たな介護保険制度がスタートし、医療や年金、社会保険制度が見直されます。

私たちが暮らす留萌の現状と合わせて、迎える高齢化社会への対策「健康都市」づくりを年齢別人口を参考に考えてみましょう。



市立総合病院完成予想図



五十嵐町の市営住宅(シルバーハウジング)完成予想図



子育ての支援

少子化時代を迎え、社会全体で子供たちを健やかに育てる環境づくりを進めなければなりません。そのため、子育てを支援する計画の策定を進めると共に、子育てに関する相談、助言、指導などの機能をもった、総合的な「子育て支援センター」の設置を検討することとしています。

暖かい心がふれあう地域福祉、ボランティア活動を活発にするため、ボランティアへ参加しやすい体制づくりが不可欠な要件となっています。

そのためには、ボランティアを求め、ボランティアをしたい人との連携を図るため、社会福祉協議会や関係団体の基盤強化を支援するとともに、多角的なネットワークづくりをすすめます。

障害者福祉計画

障害をもつ方々の社会参加の輪をより一層広げるノーマライゼーション(障害をもつ人も、もたない人も、共に地域で暮らす)の理念を実現することが大切です。精神障害者のための地域共同作業所への支援や交通費の助成を行うなど、障害を持つ方々が社会復

健康で生きる

喜びの保障づくり

健康と医療

市民の皆さんが心身共に健康な生活を送るために、「すこやか福祉センター」(仮称)を建設し、高齢者や障害者にやさしい施設づくりをすすめる、ライフスタイルに応じた保健サービスの充実を図ること。さらに、市立総合病院の新築と道立看護学校の設置、高規格救急車の導入により、医療技術の推進はもろろん、看護婦の定着による患者へのサービスをより一層高め、医療と救急体制を整えることが大切なことです。

安心して暮らせる

住環境づくり

シルバーハウジング

昨年、一部完成した五十嵐町の市営住宅シルバーハウジングは、平成11年度にすこやか福祉センター(仮称)などを建設し全て完成します。高齢に伴い心身の機能が低下することは避けられないことから、高齢者が安心して生活ができ、必要に応じたサービスが受けられるようになっています。

希望と生きがいの

福祉づくり

高齢者福祉

住み慣れた留萌のまちで安心して暮らせるための支援体制を築くため、在宅介護支援センターなど、在宅福祉サービスの充実を図り、さらに、特別養護老人ホームの増床や昨年一部完成しました高齢者向け住宅シルバーハウジング(五十嵐町)の建設を現在すすめています。

高齢者の方々がいろいろなスポーツを通じて、健康的な汗を流しています。中でもゲートボールやパークゴルフの愛好者が年々増えて

入居者へのLSAのサービス

LSA(ライフ・サポート・アドバイザー)を配置し、支援体制を整備・強化します。

LSAの役割

- ①生活相談・助言
 - ②安否の確認
 - ③各種情報の提供
 - ④緊急時の対応
 - ⑤一時的な疾病等の対応
 - ⑥関係機関への連絡
- このシステムは入居者の身体的変化や緊急事態の発生に備え、関係機関(市役所・病院・消防本部・警察署・町内会)からの緊急対応が速やかに行うことができます。

サービスの一部を紹介します

在宅介護の支援します

病弱や障害のため、日常生活に不便を感じている家庭にホームヘルパーを派遣し、身体介護、家事援助等のお世話をします。

老人宅への訪問看護サービス

かかりつけの医師などの指示に基づいて、看護婦等が家庭を訪問し、看護サービスを提供します。

健康診査

基本健康診査や胃がん、子宮がん、肺がん、乳がん、大腸がんの各検診を行います。

短期間の保護

介護者が病気、旅行、介護疲れ等により、介護ができなくなる場合に、お年寄りを一時的に特別養護老人ホームでお世話をします。

1日のサービス

虚弱や寝たきり等のため、日常生活に不便を感じている方に対し、センターまで送迎し、簡単なゲームでの日常動作訓練、入浴、給食等のサービスを提供します。



いますので、各施設の整備をすすめて、健康的なスポーツ活動の場を広げます。

さらに、高齢者の皆さんの経験や能力に応じた就労機会の拡大とアカシア大学や生涯学習など生きがい対策の支援を行うとともに、ボランティア活動が運営しやすい環境づくりを目指します。